

日本中央競馬会函館競馬場及び東京競馬場納め 新オーロラビジョンシステム

山崎 悟* 長濱 淳**
前嶋一也*
草野洋介**

要旨

“オーロラビジョン”が世の中に登場してから既に十数年が経過した。その間に、公営競技場・野球場・スタジアムなどを中心に納入実績を重ね、スタンドを埋めた大多数の観衆にフルカラーによる映像・画像情報を同時にサービスする表示装置として定着するとともに、表示装置の性能・機能とも改善され、格段の進歩を続けてきた。

今回開発した新オーロラビジョンシステムは、従来の大型映像表示装置がビデオ映像(NTSC)のみを表示していたのに対して、近年のEDTVやハイビジョン等の映像表示や横長サイズの迫力ある映像表示が可能になり、さらに、表示スクリーンの表示素子の改良によって高解像度の表示装置も対応可能になった。また、新制御部のネットワーク

には、最近のネットワークシステムの進歩に合わせてLAN(Local Area Network)接続を採用した。一方、センター制御部のコンピュータシステムには、処理能力の高いエンジニアリングワークステーション(EWS)を採用し、ウィンドウ表示による操作環境を構築することによって運用操作部の機能・性能・操作性を向上させた。

今回の新制御部及び運用操作部の開発によって、大型映像表示装置の命題である大多数の観衆にインパクトのある鮮明な映像をタイムリーにサービスできるシステムが簡単に構築できるようになるとともに、今後の新しいメディアの登場等、ソフト面とハード面での追加要求に対して柔軟に対応できるシステムを完成することができた。



新オーロラビジョンシステム設置全景

今回東京競馬場に納入した新オーロラビジョンシステムの設置全景を示す。東京競馬場には、(W)20.48m×(H)10.88mサイズのスクリーンが2面設置されている。